

沖縄県新型コロナウイルス感染症発生動向報告

沖縄県疫学・統計解析委員会

【現状】

新規陽性者数・実効再生産数

沖縄県における先週（6月6日-12日）の新規陽性者数は8,777人（先々週 8,591人）でした。沖縄本島（周辺離島を含む）における先週の実効再生産数(R) ^{*1} は1.01 [最小値 0.32-最大値 1.35]、このうち那覇市は1.10 [0.46-1.40]でした。また、宮古は0.81 [0.33-1.55]、八重山は0.97 [0.61-1.43]でした（図1）。全県的に陽性者数は減少しています。

*1：最終日を除いた直近7日間における日別推定値（平均値）の平均値。[]内は、直近7日間における日別推定値（平均値）の範囲（最小値から最大値）を表す。

保健所管区別

保健所管轄区域別（7日間合計）では、北部 611人（先々週 419人）、中部 3,127人（先々週 3,355人）、那覇市 1,829人（先々週 1,532人）、南部 2,655人（先々週 2,649人）、宮古 300人（先々週 360人）、八重山 235人（先々週 252人）でした（図2）。那覇市で増加しているほか、北部において感染が拡大しています。とくに名護市 461人（先々週 297人）において急速に拡がっており、本部町 54人（先々週 49人）、今帰仁村 37人（先々週 42人）においても高いレベルで流行が持続しています。

県外からの渡航者は19人（先々週 21人）でし

た。最多は大阪府の5人で、次いで愛知県3人でした。

年齢階級別推移

年齢階級別では、10歳未満 1,646人（19%）と最多であり、10代 1,606人（18%）、30代 1,325人（15%）と続きます。性差では、20歳未満で男性が多いのに対して、20歳以上では女性が多いことは変わりありません（図3）。推移をみると、20歳未満で感染が拡がっているほか、90代において急速な増加を認めています（図4）。保健所の疫学調査によると、先週の90代 150人の陽性者のうち、95人（63%）が高齢者施設における感染であり、6人（4%）が通所施設における感染と考えられます。

入院患者数推移

先週の新規入院患者数は167人（先々週 179人）でした。このうち70歳以上の高齢者が129人（77%）を占めています。入院患者数は先週末時点で298人（6月5日時点 350人）と減少が続いており、このうち酸素投与など中等症患者は15人（6月5日時点 165人）でした。気管挿管など重症患者は4人（6月5日時点 4人）でした（図5）。

一方、社会福祉施設で療養されている陽性者は、先週末時点で60施設 217人（6月5日時点 214人）とやや増加しています（図6）。

【今後の見通しと対策】

沖縄県では、全域において流行が持続しており、北部と那覇市では感染が拡大しつつあります。報告される範囲では、子どもたちを中心とした流行であるように見えますが、活動的な20代、30代でも広がっており、検査を受けていないことで把握しきれていない可能性もあります。

若年層における持続流行の余波を受けて、高齢者施設における集団感染が重なっており、一部で重症化する高齢者を認めています。県内では、ヒトメタニューモウイルスの流行も認めており、やはり高齢者に肺炎を引き起こし、重症化するリスクがあります。今後、インフルエンザの流行が始まる可能性もあります。コロナであるかどうかに関わらず、風邪症状を認めるときは発症から1週間程度は高齢者には会わないように注意してください。

医療や介護従事者の方々は、患者さんや利用者さんに触れる前後に手指衛生を徹底するなど標準予防策をお願いします。加えて、職場の換気を十分に行い（機械換気を基本とし、密集する場所では窓やドアから風を入れる）、ユニバーサルマスクを心がけます（屋内で対面するときは、双方が常にマスクを着用する）。なお、双方がマスクを着用している状況であれば、フェイスシールドやデスクシールドは不要です。

高齢者の方々は、ワクチン接種を最新の状態でしてください。3回目まで接種を完了させた場合には、未接種と比べて感染した場合の入院リスクをおおむね半分に、死亡リスクを10分の1に減らすことができます。そして、皆さんが守られることは、沖縄県の医療と福祉を守り、多くの人を守ることに繋がります（図7）。なお、外出を控える必要はありません。屋外での散歩にはマスクは不要です。屋内では適切にマスクを着用していれば、ことさらに感染を恐れる必要はありません。

沖縄県では、現在も高いレベルでの流行が続い

ています。今週の新規陽性者数は7,000-10,000人となり、今週末までに入院患者数は265-280人に至ると見込まれます（図8）。今月中の流行規模は横ばいで推移するものの、7月18日の海の日を含む3連休などを経て、7月下旬以降は感染が広がる可能性が高いと考えられます。

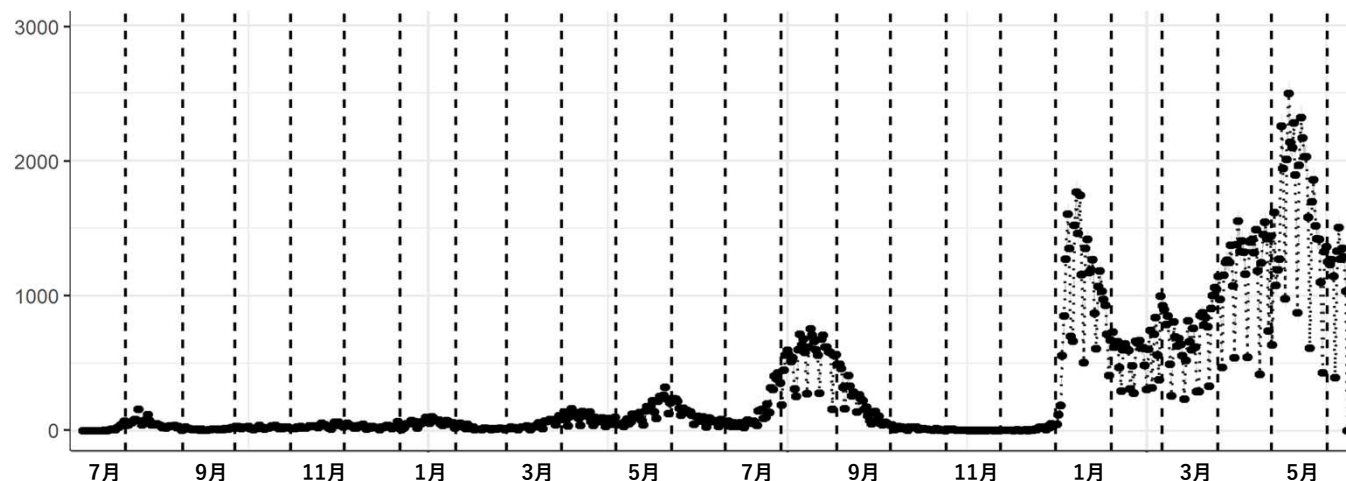
体調不良時にはイベントや会食へ参加しないことを徹底してください。そして、マスクを外して密集するようなイベントに参加した後には、地域の流行状況を踏まえ、1週間程度は高齢者の自宅を訪問したり、一緒に食事をしたりしないようにお願いします。

図1 陽性者数の推移と実効再生産数（北部、中部、南部）

陽性者数（確定日）

日あたり観察値

北部、中部、南部医療圏
(宮古・八重山を除く)



実効再生産数

直近7日間平均値

北部、中部、南部医療圏
(宮古・八重山を除く)

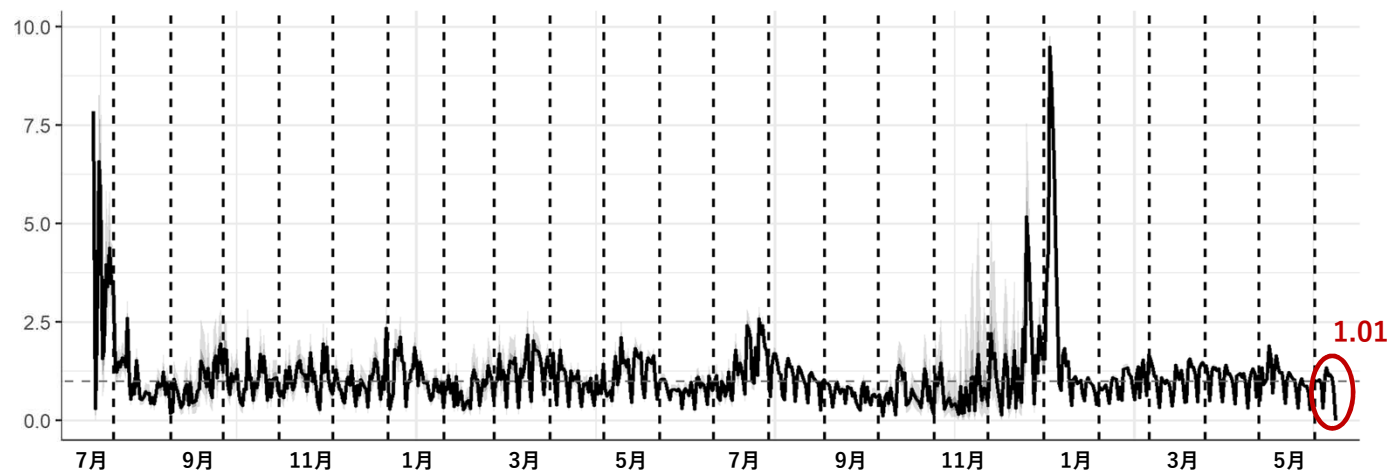


図2 保健所管区別に見る新規陽性者数の推移（沖縄県）

人口10万人あたり7日間合計

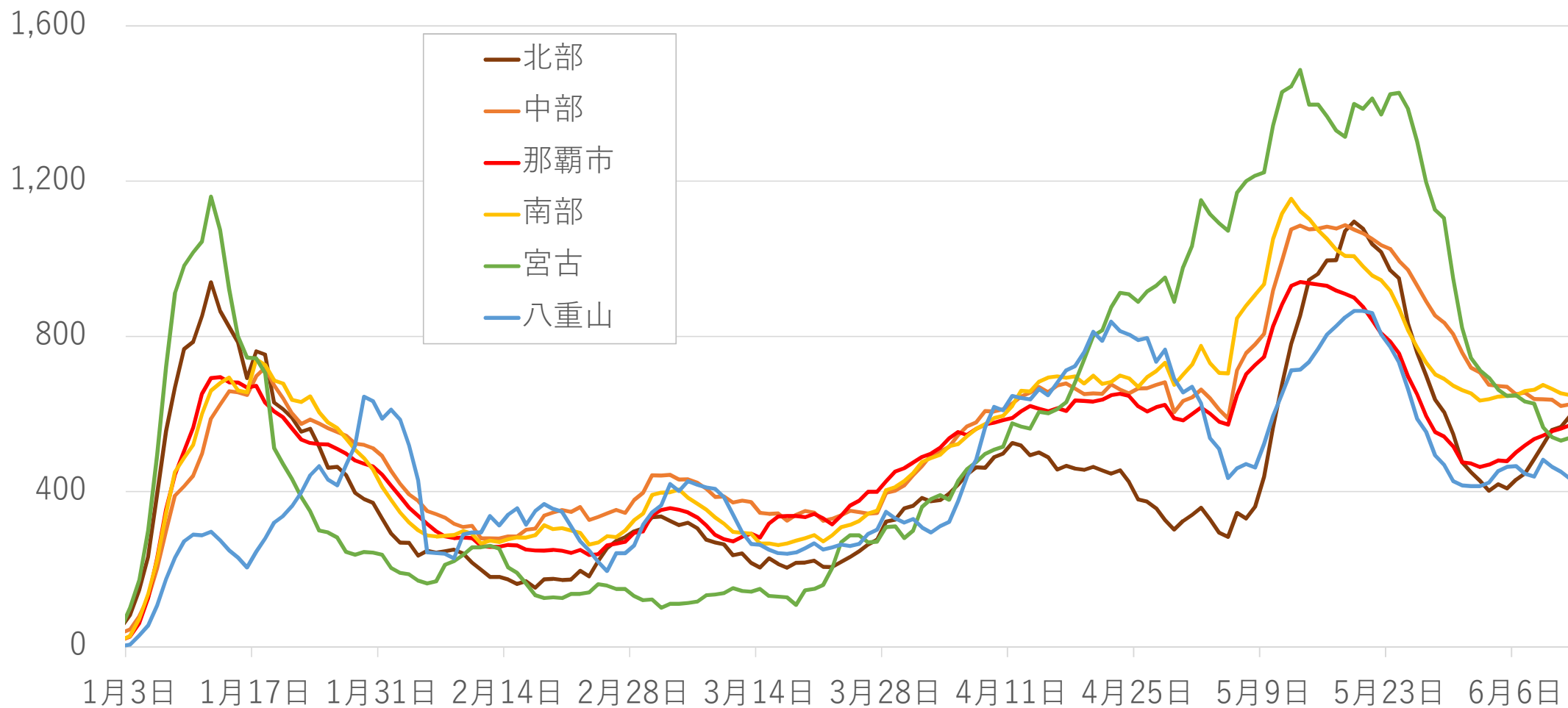


図3 性年齢階級別にみる陽性者数（6月6日～12日）

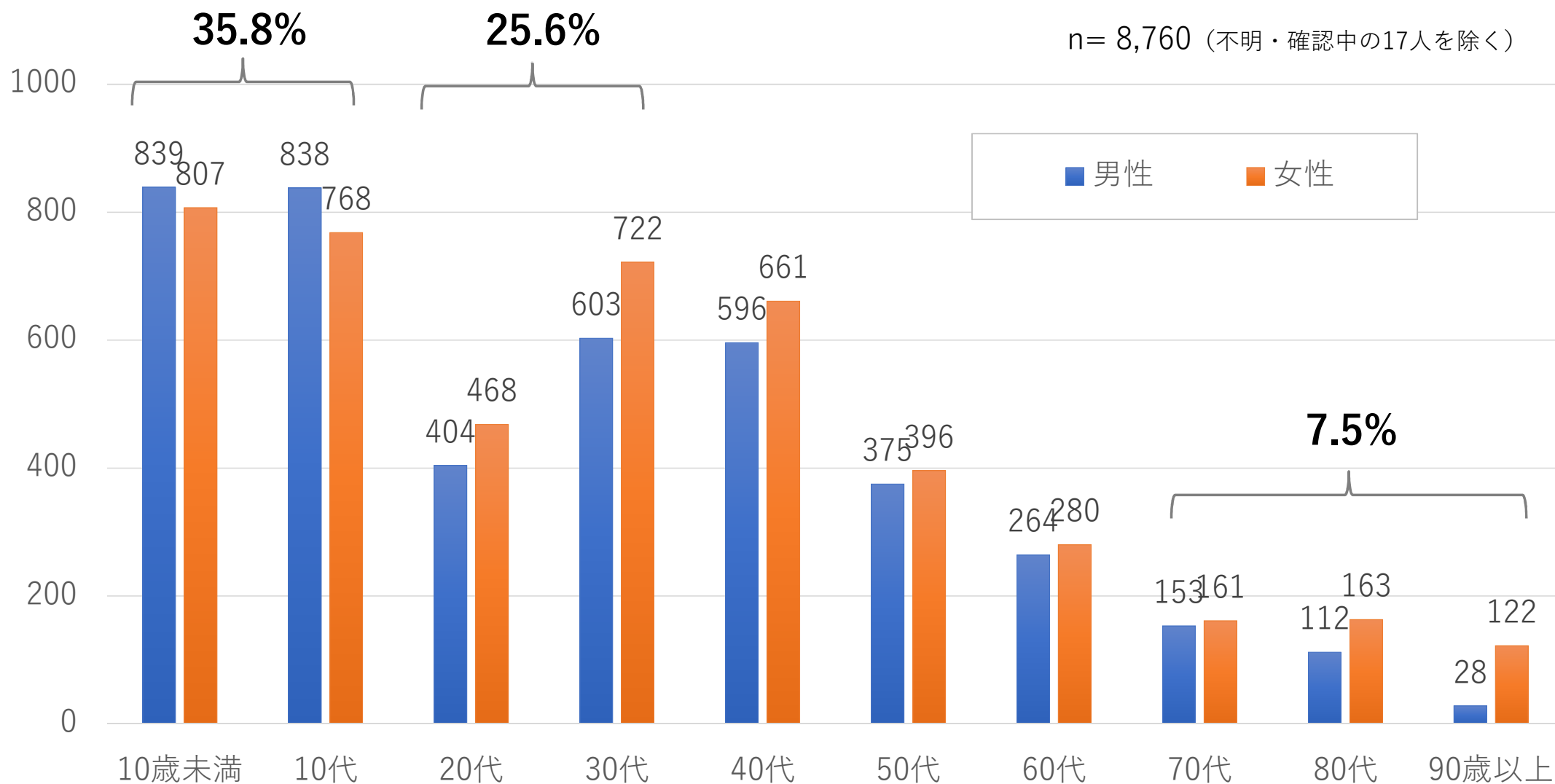


図4 年齢階級別にみる新規陽性者数の推移（人口10万人あたり7日間合計）

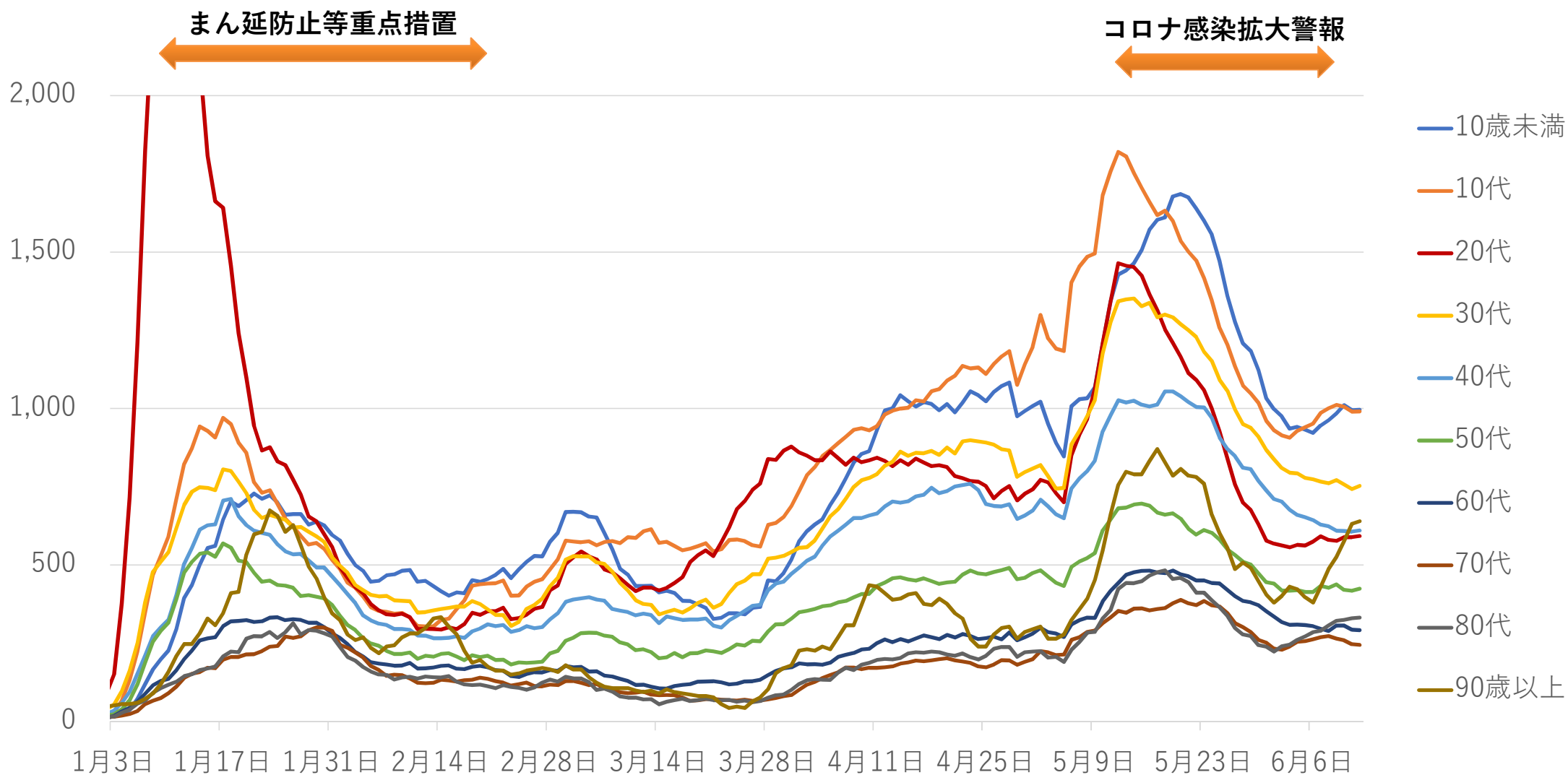


図5 重症度別入院患者数と施設療養者数の推移

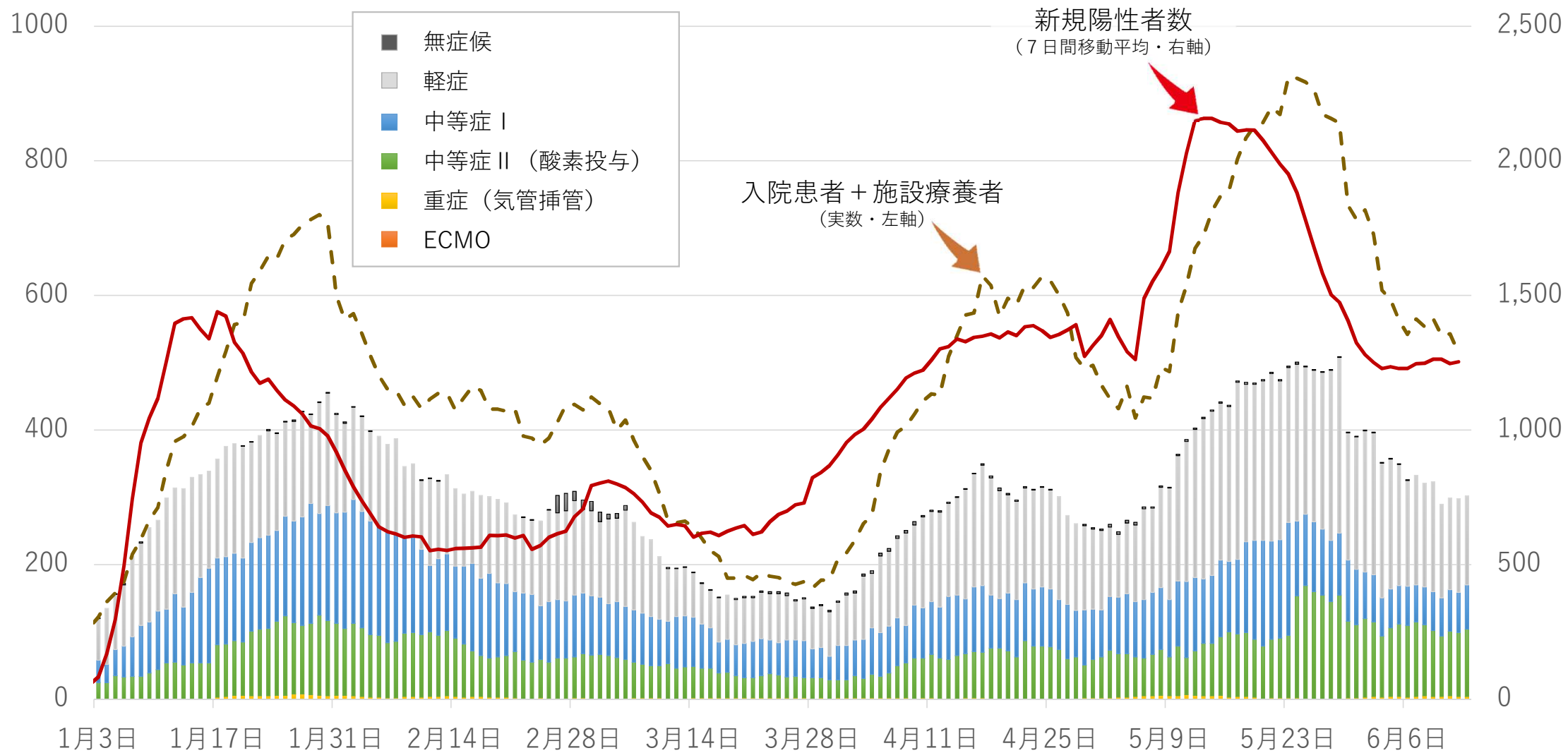


図 6 社会福祉施設における施設内療養者数

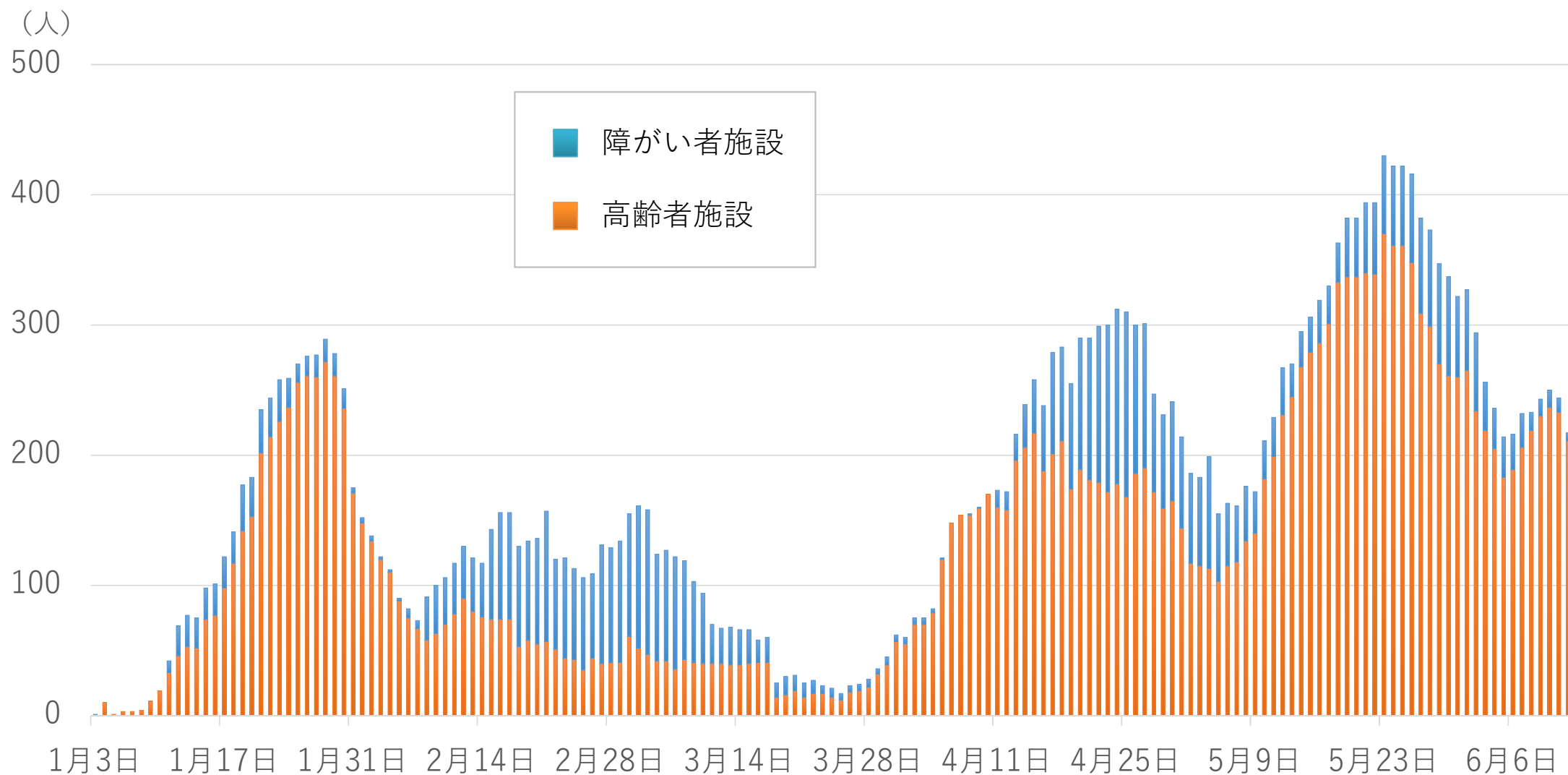


図7 コロナと診断された人は、どれくらい重症化しますか？

沖縄県内において、2022年4月1日から5月31日までに診断確定した感染者 93,375人について集計・分析した

診断



入院



重症化



死亡

20歳未満	400人に1人	なし	なし
20～49歳	130人に1人	4千人に1人	なし
50～69歳	35人に1人	1,500人に1人	3千人に1人
70歳以上	5人に1人	190人に1人	260人に1人

ワクチン未接種 34.8%

2回目接種完了 28.3%

3回目追加接種 16.5%

21.3%

ワクチン未接種 0.75%

2回目接種完了 0.54%

3回目追加接種 0.08%

0.38%

図 8 今後 1 週間（6月13日-19日）の発生見込み数

分析データ： 新規陽性者数、年齢群別・医療県別入院率； 沖縄県
 年齢群別重症化率； 厚生労働省
 平均期間（入院・重症）； HER-SYS

	新規陽性者数（確定日）			入院患者数（6月19日時点）		
実効再生産数	0.5	1.0	1.5	0.5	1.0	1.5
沖縄本島	4,044	8,143	16,398	175	179	186
宮古圏域	146	295	594	39	55	82
八重山圏域	122	246	495	27	39	57
合計	4,312	8,684	17,487	242	274	325